

喜寿期（75歳～79歳） 賀寿期5歳層 その2

前回の「古希期」を継ぐ賀寿期5歳層が「喜寿期」です。昭和12（1937）年～昭和8（1933）年の生まれ。「喜寿」の77歳は昭和10（1935）年生まれ。

今回はその上の階層である「喜寿期」についてです。高齢期のこの時期を、本誌のように考えて活動したらどうでしょうという提案ですので、ご随意に扱ってください。

ご存じのように、漢字の草書体の「喜」の字が七の下に十七を並べて書いて、「七十七」と読めることから七十七歳を「喜寿」というようになったとされています。七の下に七をふたつ並べた書体は草書の諧書化だそうです。なかには草書は「七十七一」と書くという説もあって、そうすると七十八になります。

余談ですが、こんな経験があります。将棋の駒の「歩」は敵陣に入ると出世して「と金」になります。頼りがいのある成り駒です。この「と」は歩の上の半分の止の字の略字であるとして教えられていましたが、実はこれも金の字の草書からといわれて、相手陣に入ったわが「と金」をじっと見ていると、そう見えてきました。優れた先人は両方を知ったうえで兼ねそなえて刻んだものと納得したことがあります。

「喜」の字についての来歴の議論はおまかせすることにして、実情は七十七歳を「喜寿の祝」としているということと、この歳に「喜」の字に出会うことの喜びを優先しようと思います。

さて「喜寿」をふくむ五歳層「喜寿期」は、下表をご覧ください。

◎ 高年期（賀寿期）

還暦期（六〇歳～六九歳）	昭和二七年～昭和一八年
古希期（七〇歳～七四歳）	昭和一七年～昭和一三年
喜寿期（七五歳～七九歳）	昭和一二年～昭和八年
傘寿期（八〇歳～八四歳）	昭和七年～昭和三年
米寿期（八五歳～八九歳）	昭和二年～大正一二年
傘寿期（九〇歳～九四歳）	大正一一年～大正七年
白寿期（九五歳～九九歳）	大正六年～大正二年
百寿期（一〇〇歳以上）	大正元年以前

◎ 「高年期（喜寿期）」（七五～七九歳）

生年	干支	年齢	人口（男・女）万人	流行語・流行歌
一九三七	昭和一二	丁丑 七五	66・3 76・6	国民精神総動員。「別れのブルース」「海ゆかば」
一九三六	昭和一一	丙子 七六	65・1 76・6	今からでも遅くない。「ああそれなのに」
一九三五	昭和一〇	乙亥 七七喜寿60・9	73・4	人民戦線。暁の超特急。「二人は若い」「野崎小唄」
一九三四	昭和九	甲戌 七八	56・0 69・2	明鏡止水。「赤城の子守唄」「国境の町」
一九三三	昭和八	癸酉 七九	54・3 68・9	転向。ファシスト。「東京音頭」「島の娘」

◎「喜寿期」にある人びと

これだけの優れた人びとの活動が常にみえていない社会を、国際的に先行する「日本長寿社会」といえるのでしょうか。

1933（昭和8）年 79歳

森村誠一（1・2 作家） 岡田茉莉子（1・11 俳優） 藤本義一（1・26 作家） 渡辺貞夫（2・1 音楽家） 一柳慧（2・4 作曲家） 白籟史朗（2・23 写真家） 青井忠雄（3・3 企業経営） 浅利慶太（3・16 演出家） 香西泰（3・22 日本経済論） 篠弘（3・23 歌人） 永六輔（4・10 放送タレント） 天野祐吉（4・27 コラムニスト） 扇千景（5・10 政治家） 池坊専永（7・21 華道家元） 黒柳徹子（8・9 俳優） 菅原文太（8・16 俳優） 渡辺淳一（10・24 作家） 平幹二郎（11・21 俳優） 中沢桂（11・23 声楽家） 辻村ジュサブロー（12・15 人形作家）

三遊亭円楽（落語家） 市川昭介（作曲家） 池内淳子（俳優） 高島通敏（政治学） 柿沢弘治（政治家）

1934（昭和9）年 78歳

山口定（1・2 政治学） 宇野亜喜良（3・13 イラスト） 大橋巨泉（3・22 タレント） 山崎正和（3・26 劇作家） 坂口力（4・1 政治家） 橘家圓蔵（4・3 落語家） 堀田力（4・12 弁護士） 田原総一郎（4・15 評論家） 大内順子（5・4 服飾評論） 広中和歌子（5・11 政治家） 堤義明（5・29 企業経営） 田中克彦（6・3 言語学） 山田太一（6・6 脚本家） 米倉斉加年（7・10 俳優） 降旗康男（8・19 映画監督） 酒井田柿右衛門（8・26 陶芸家） 長部日出雄（9・3 作家） 小中陽太郎（9・9 作家） 樋口陽一（9・10 憲法学） 筒井康隆（9・24 作家） 東陽一（11・14 映画監督） 日比野弘（11・20 ラグビー）

児玉清（俳優） 玉置宏（司会者） 芦田甚之助（労働運動） 黒川紀章（建築家） 灰谷健次郎（児童文学） 井上ひさし（作家）

1935（昭和10）年 77歳 喜寿

倉本聡（1・1 脚本家） 片岡我当（1・7 歌舞伎俳優） 柴田翔（1・19 ドイツ文学） 白川義員（1・28 写真家） 大江健三郎（1・31 作家） 玉井義臣（2・6 交通問題） 李恢成（2・26 作家） 松岡享子（3・12 児童文学） 矢野誠一（3・18 芸能評論） 畑正憲（4・17 作家） 石丸晶子（4・26 女性史） 美輪明宏（5・15 歌手） 高橋幸治（6・10 俳優） 野村克也（6・29 プロ野球） 堺屋太一（7・13 経済評論家） 根岸英一（7・14 化学者） 富岡多恵子（7・28 作家） 吉行和子（8・9 俳優） 羽田孜（8・24 政治家） 小沢征爾（9・1 指揮者） 宝井馬琴（9・13 講談家） 蛭川幸雄（10・15 演出家） 村田栄一（12・23 教育評論）

仰木彬（プロ野球） 若杉弘（指揮者） 筑紫哲也（ジャーナリスト） 赤塚不二夫（漫画家） 岡田真澄（俳優） 倉橋由美子（作家） 若桑みどり（西洋美術）

1936（昭和11）年 76歳

中村桂子（1・1 生命科学） 清水雅人（1・1 新宗教） 松本徳彦（1・1 写真家） 花輪莞爾（1・6 フランス文学） 天野郁夫（1・7 高等教育） 渡辺保（1・10 演劇評論） 市原悦子（1・24 女優） 野際陽子（1・24 女優） 坂詰秀一（1・26 古代学） 猪俣猛（2・6 ドラム奏者） 長嶋茂雄（2・20 プロ野球） 轡田隆史（3・5 ジャーナリスト） 佐藤桂子（3・12 スペイン舞踊） 若松孝二（4・1 映画監督） 田中努（4・17 環境政策） 栗原彬（4・18 政治社会学） 伊藤誠（4・20 経済学） 蓮見重彦（4・29 仏文） 伊藤周男（4・30 企業経営） 中嶋嶺雄（5・11 アジア地域研究） 柳田邦男（6・9 評論家） 司修（6・25 画家・作家） 横尾忠則（6・27 画家） 桂歌丸（8・14 落語家） 林郁（8・18 作家） 原広司（9・9 建築家） 宮下充正（9・2 スポーツ科学） 村上陽一郎（9・9 科学史） 三谷太一郎（9・29 政治外交史） 北島三郎（10・4 歌手） 桑原史成（10・7 報道写真） 江原真二郎（10・12 俳優） 馬淵晴子（11・2 女優） 越智道雄（11・3 比較文化） さいとうたかを（11・3 劇画家） 館野泉（11・10 ピアニスト） 清水邦夫（11・17 劇作家） 井川比佐志（11・17 俳優） 山口崇（11・17 俳優） 里見浩太朗（11・18 俳優） 東敦子（12・11 声楽家） 森内俊雄（12・12 作家） 加瀬英明（12・22 評論家）

立川談志（落語家） 一色一成（写真家） 安達瞳子（花芸家） 角間隆（ジャーナリスト） 山崎努（俳優） 高松次郎（画家・動画）

1937（昭和12）年 75歳

山本學（1・3 俳優） 有賀誠門（1・5 打楽器奏者） 河野洋平（1・15 政治家） 小篠弘子（1・15 服飾デザイナー） 成田絵智子（1・25 声楽） 野添ひとみ（2・11 女優）（2・13 女優） 山藤章二（2・20 イラスト） 江戸京子（2・27 ピアニスト） 安崎暁（3・3 企業経営） 和田恵美子（3・18 衣装デザイン） 雪村いづみ（3・20 歌手） 赤瀬川原平（3・27 画家・作家） 栗林忠男（3・29 国際法） 実相寺昭雄（3・29 演出家） 岩崎淑（4・3 ピアニスト） 別役実（4・6 劇作家） 石弘光（4・9 財政学） 加山雄三（4・11 俳優） 佐木隆三（4・14 作家） 大倉舜二（5・2 写真家） 小沢遼子（5・4 評論家） 山口洋子（5・10 作家） 伊東四郎（6・15 俳優） 浅井慎平（7・1 写真家） 桐島洋子（7・6 作家） 永島慎二（7・8 漫画家） 森喜朗（7・14 政治家） 寺谷弘壬（7・17 国際関係） 守随武雄（7・28 企業経営） 栗原達男（8・2 報道写真） 時津風勝男（8・18 大相撲） 見田宗介（8・24 社会学） 白鳥令（8・26 政治学） 尾島俊雄（9・2 都市環境） 林家木久蔵（10・19 落語家） 西江雅之（10・23 文化人類学） 立木義浩（10・25 写真家） 東海林さだお（10・30 漫画家） 養老孟司（11・11 医学） 花井幸子（11・12 デザイン） 古井由吉（11・19 作家） 出井伸之（11・22 企業経営） 平尾昌晃（12・24 作曲家）

遠藤幸雄（体操） 増井光子（動物医学） 阿久悠（作詞家） 緒形拳（俳優）